

開教

Kaikyo

HONEN BUDDHISM

JAPAN, HAWAII, NORTH AMERICA, SOUTH AMERICA, BRISBANE, PARIS

ハワイ
開教区

浄土宗ハワイ開教125周年記念
慶讚法要奉修報告

御挨拶
開教総監を拝命して

北米
開教区

除夜一時間念佛会

南米
開教区

南米開教区
佐々木陽明前開教総監遷化

オーストラリア
開教地

木曜島のお盆法要と
日本人墓地修復事業について

フランス
開教地

今年2020年、
浄土宗ヨーロッパ仏教センターは
13年目を迎えます。

国内
開教

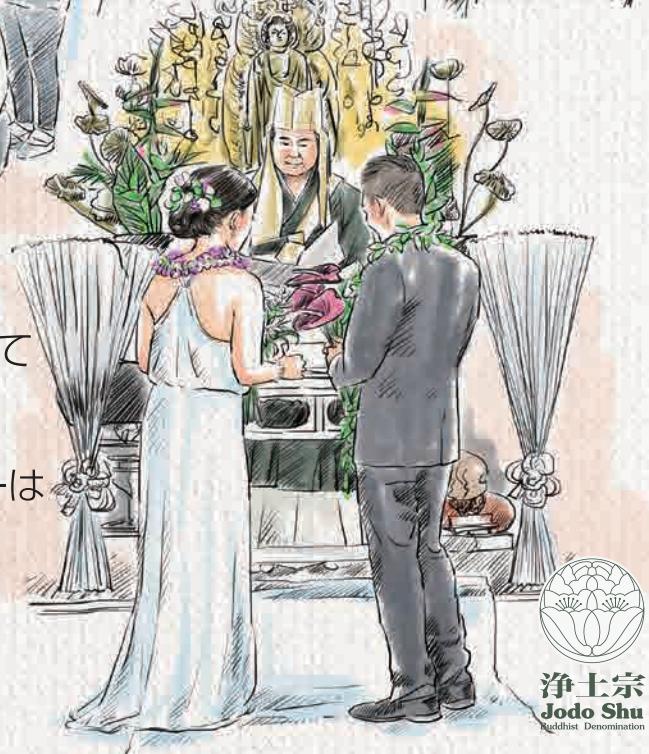
国内開教活動報告

茨城県小美玉市 清淨院

沖縄県豊見城市 聖蓮寺

Volume
37
HONEN BUDDHISM
2019

浄土宗開教振興協会
会報 [開教]



淨土宗
Jodo Shu
Buddhist Denomination

目 次

CONTENTS

2 ご挨拶

浄土宗開教振興協会会長
浄土宗宗務総長 川中光教



…海外開教…

3 浄土宗ハワイ開教125周年記念

慶讚法要奉修報告
ハワイ開教区 開教総監 石川 広宣



5 除夜一時間念佛会

北米開教区開教総監 後根 定璽
本院主任開教使 田中 孝道



7 南米開教区 佐々木陽明前開教総監遷化

南米開教区開教総監 佐々木 良法



9 木曜島のお盆法要と日本人墓地修復事業について

オーストラリア開教地主事 ウィルソン哲雄

11 今年2020年、 浄土宗ヨーロッパ仏教センターは13年目を迎えます。

フランス開教地主事 高僧 光隆

12 ハワイ開教区 石川総監就任、高野開教使赴任

ハワイ開教区 開教総監 石川 広宣
開教使 高野 明宏

…国内開教…

13 国内開教活動報告

茨城県小美玉市 清淨院
住職 堤 忠春

沖縄県豊見城市 聖蓮寺
住職 大和田 壽二



15 各開教区開教使名簿

16 浄土宗開教振興協会 平成30年度 会員名簿

- 浄土宗開教振興協会 役員名簿
- 浄土宗開教振興協会 事業報告

23 浄土宗開教振興協会 平成30年度 決算書

25 平成30年度 教区别正会員比率

26 海外・国内開教使募集 編集後記

ご挨拶

浄土宗開教振興協会会長
浄土宗宗務総長

川中 光教



昨年11月、浄土宗宗務総長に就任し、浄土宗開教振興協会会長職を拝命いたしました川中光教と申します。

浄土宗の国外開教がはじまったのが1894年。明治27年のことです。遡ること1885年に始まった官約移民によって9年間で約2万9千人の日本人が海を渡りハワイへと渡航しています。1893年には元外務大臣榎本武揚によって植民協会が設立され、移民がまさに国策というそんな社会背景の中で始まつたのが国外開教でした。本宗の松尾諦定師、岡部学応師の2人の宣教布教師渡海のご苦労に想いを馳せますと、上古の時代に大陸から日本へと仏教を伝えた偉人の方の説話と重なり、襟を正す思いであります。

昨年6月9日にホノルルのハワイ浄土宗別院にて行われた「浄土宗ハワイ開教125周年記念慶讚法要」は、ハワイだけでなく浄土宗海外開教の歴史を記念した法要となりました。時代の曲折や艱難辛苦を越え、開教を続けてこられた先達に報恩感謝し、今後の発展を祈願する法要となつたこととお慶び申し上げます。

ハワイのみならず、北米・南米・オーストラリア・フランスの各地開教区開教地において今日も先達の想いを継承し、阿弥陀仏の本願、極楽浄土への往生、南無阿弥陀仏の念仏を伝道いただいておりますこと

に心から御礼を申し上げます。

日本人移民と共に始まつた海外開教ですが、状況は当時と変わつてゐるはずです。前号にも記載されたようにドイツ人のフランク・ビュトゲン氏が増上寺で得度式を受けられました。他宗の話題になりますが、奈良興福寺ではドイツ人僧侶が千年以上伝わつてきた「堅義(りゅうぎ)」と呼ばれる難関の口頭試問に挑んで満行されました。SNS時代になり、日本国内であつても肌身で感じるほどに国際化しています。日本人、日系人、外国人といった過去のイメージも急速に変化しています。あと10年もすればそのような分け方自体がナンセンスになるかもしれません。将来的に各地の開教区開教地がさらに発展し、国内の教区と同様になることを願つております。まずは次回発行の寺院名鑑から改め、現在の「開教区」と括りになつてある表記から他教区と同様に地域ごとに項目を分けて表記いたします。

私は変革の時こそチャンスがあると考えております。海外において開教は当たり前かもしませんが、国内の一般寺院においても浄土宗開宗850年を目前とするこの時期に、今一度「開教」を心して臨んでいただきたく願つております。その為に是非開教使の皆様からも今までの経験とお知恵を日本国内に向けて発信賜りますようご協力を



ワイキキのカラカウア通りで行われた「第40回まつりインハワイ」パレードに参加。地元住民や観光客など約5万人が沿道を埋めた。

淨土宗ハワイ開教125周年記念 慶讃法要奉修報告書

ハワイ開教区開教総監
石川 広宣

迎えたハワイ浄土宗は、開教区15カ寺（当時）の総意を結集し、編纂した。各寺の沿革と開教区の歴史を綴つた「ハワイ開教百年史」を行事を見事に捉えたビデオ「洋上の光」も制作された。そして記念行事の集大成として、中村康隆御門主猊下をお迎えし10月19日より30日にかけて、慶讃大法要を各島各所で厳修。先達への感謝の祈りがささげられ、長年の功労者も表彰された。なかもう23日、NBCホールで開催された慶讃大法要では、日本から僧侶、信徒約2,500名に及ぶ大参拝団が結集し、地元からも500名以上の参列があり盛大かつ華やかに百周年事業を円成させたのである。

はゆるやかにそして大きく衰退しようとしていた。主因にはハワイ経済を支えてきたサトウキビ産業の斜陽がある。人件費など生産コストの高騰化により、多くの工場は閉鎖され人口が流動。又、産業の変革にともなって、地域社会も変化し、日系人は、各地へと分散した。日系人が離れた土地には他人種が移住し、最近では、白人の引退者が多数移住するなど、社会は複雑多様化の様相を呈している。と、同時に、価値観が大きく異なる世代交代も進行していた。特に日英両語どちらも理解できる日系2世と日本語をほとんど理解しない3世には大きなギャップがあり、これまで行ってきた慣習、やり方を見直す必要性がでてきたのが近年の実状である。

はゆるやかにそして大きく衰退しようとしていた。主因には、ハワイ経済を支えてきたサトウキビ産業の斜陽がある。人件費など生産コストの高騰化により、多くの工場は閉鎖され人口が流動。又、産業の変革にともなって、地域社会も変化し、日系人は、各地へと分散した。日系人が離れた土地には他人種が移住し、最近では、白人の引退者が多数移住するなど、社会は複雑多様化の様相を呈している。と、同時に、価値観が大きく異なる世代交代も進行していた。特に日英両語どちらも理解できる日系2世と日本語をほとんど理解しない3世には大きなギャップがあり、これまで行つてきた慣習、やり方を見直す必要性がでてきたのが近年の実状である。

1999年12月、戦前、開教本部であったラウパホエホエ

淨土院を統いて2005年にはワイナク淨土院を寺院施設の老朽化等の問題もあって閉山した。また、かつて20名以上の開教使を有していた時代もあつたが、現在は総監を含めても8名。半数の開教使が複数の寺院を兼務している。数千名を誇っていた信徒数も、現在は千名前後。記念すべき年とはいえ、決して喜べる状況ではなく、また記念行事に散財すべきではないとの意見もあつた。

しかし、どのような現状であれ、我々は常に現実を直視し、立ち向かっていかなければならぬ。現実は過去の産物であり、過去を記録し、後世へと伝えるのも、また我々の役割なのである。

記念行事を企画するにあたつて、特に百周年以後の25年を振り返ろうというテーマが決められた。いわゆる歴史記録のアップデートである。檜柴裕文

はワイナク浄土院を寺院施設の老朽化等の問題もあって閉山した。また、かつて20名以上の開教使を有していた時代もあつたが、現在は総監を含めても8名。半数の開教使が複数の寺院を兼務している。数千名を誇っていた信徒数も、現在は千名前後。記念すべき年とはいえ、決して喜べる状況ではなく、また記念行事に散財すべきではないとの意見もあつた。

しかし、どのような現状であれ、我々は常に現実を直視し、立ち向かっていかなければならない。現実は過去の産物であり、過去を記録し、後世へと伝えるのも、また我々の役割なのである。記念行事を企画するにあたって、特に百周年以後の25年を振り返ろうというテーマが決められた。いわゆる歴史記録のアップデートである。橋柴裕文

前開教総監が、指揮を執り、行
事を企画し、日程を決められた

矢先に、突然の悲しい遷化が
あつた。大きな混乱、企画の停
滞もあつたが、ハレイワ浄土院
主任の江崎晃司師が、総監代行
に指名され、125周年記念事
業を主導。江崎代行の出身地
である大阪教区と全国淨土宗
青年会、淨土宗開教振興協会、
そして有志の方々の協力があつ

て、この度の慶讃法要が実現
した。

2019年6月9日、ハワイ淨
土宗別院本堂にて開教125周
年記念慶讃法要が厳修された。
導師を宗務総長代理として
杉山俊明宗務役員、
脇導師を

田中康道上人(元開教使会会長・
淨土宗開教振興協会副理事長、
神田眞晃上人(宗議會議員・淨土
宗開教振興協会常務理事)、
中川澄彦上人(宗議會議員)、
神田眞英上人(全国淨土宗青
年会理事長)、
江崎晃司総監代行の5名、
維那を坂下雅裕上人(大阪・淨
念寺)が務められ、ブラジルから
佐々木良法総監、北米開教本院
田中孝道主任、ハワイ開教使が
式衆として出仕した。



ハワイ開教は、1894年松尾諦定師と岡部学庵師(写真)のハワイ到着によってはじめられた。

フラン教室グループの
フラも披露された。
記念行事のファ
ナーレとして、環太
平洋の友好親善の祭
典「まつりインハワイ」
のパレードに参加
した。このパレ
ードは、ワイキキの目

現地の檀信徒が約70名、日本
からの参拝者約60名が参加し、
法要には雅楽や百万遍念佛など
が取り入れられ、葭間弘淳上人
(大阪・稱念寺)による法話題目
幸せ(が吉原轍哉上人の通訳に
より英語で伝えられた)。現地

檀信徒と日本からの参拝者が、
国・言語の垣根を越えて一体と
なり無事に法事が執り行われた。
法要後、13時からは、別院ソーサ
シャルホールにて記念午餐会が
開かれた。琴演奏、盆ダンスなど
現地信徒だけではなく、日本の
参加者からも豪華な余興が催さ
れ、ハワイと日本からの参拝者
とが交流する場が設けられた。

英國の希代の歴史家、E.H.
カーペンターは、歴史とは現在と過去との
果てしない対話である、と名言
を残しているが、節目節目の記念
行事は、過去を振り返り、現在を
理解、改善していく一つの大っき
きつかけであると思う。今後も
果てしない過去との対話ができる
ようハワイ開教区開教従事者

一同全力で、寺院の護持・開教
活動を行つてまいります。最後
に、125周年開催に御尽力を
賜りましたすべての方々に、
この場を借りて御礼申し上げ

抜き通りであるカラカウア
通りを伝統芸能、ダンス、
音楽の演奏など様々なジャンル
の参加団体が、パレードを通じ
て活動や技能を誇示、披露する
もので、ハワイ淨土宗の参加
者は、「125周年記念」「世界に
ともいき」の大幕を先頭に約
1.7キロを行進した。全国淨土宗
青年会の協力もあって、雅楽を
演奏する樂僧約20名がハワイ
の夕空に美しい音色を奏で、ま
た参加者がそれぞれ淨土宗のボ
スターを掲げ、歴史ある淨土宗
の弘布を改めて図ることがで
きた。



除夜一時間念佛会

北米開教区開教總監 後根 定璽

本院主任 田中 孝道



集合写真(別時前)

北米本院では、毎年大晦日に一時間の別時念佛を勤めます。夕刻、灯明に照らされたご本尊に向かい1時間の木魚念佛と三唱三札を勤める別時念佛会で、昨年末は第10回を数えました。別時念佛を始めたきっかけは2010年冬の五重相伝会にさかのぼります。暗闇の本堂での木魚念佛・礼拝を初めて経験したメンバー有志より「あの体験を一度きりのものにしたくない」との声が上がり、同年大晦日に最初の『除夜一時間念佛会』を行いました。アメリカ社会の年末年始は日本と大きく異なり、クリスマス前から大晦日までは全国で人々が故郷に移動し、家族と共に過ごします。ただし大晦日は年越しイベントが中心で宗教施設を訪れる風習は薄く、元旦は単なる祝日、翌1月2日からは通常通りの営業日が始まります。こう

北米本院では、毎年大晦日に一時間の別時念佛を勤めます。夕刻、灯明に照らされたご本尊に向かい1時間の木魚念佛と三唱三札を勤める別時念佛会で、昨年末は第10回を数えました。別時念佛を始めたきっかけは2010年冬の五重相伝会にさかのぼります。暗闇の本堂での木魚念佛・礼拝を初めて経験したメンバー有志より「あの体験を一度きりのものにしたくない」との声が上がり、同年大晦日に最初の『除夜一時間念佛会』を行いました。アメリカ

した慣習に加え、夜間ダウンタウンへの運転を要するため参加できるメンバーは限られており、当初数年は5名程度でした。2013年からは日本語ラジオ放送で五分間の番組を開催、法要・講演会・法話DVDの紹介を通じ、一般の日系社会へも本院行事への参加を呼びかけたところ、念佛会も在留日本人二、三名の参加がありました。また、ラジオ関係者から次の意見が寄せられました。「一般の方もお寺に行ってみたいけど、特に信者でもないので突然行くには敷居が高い。でも日本人と

して初詣のような神聖な体験がしたい。メンバーでなくても気軽にに行ける、ちょっとした修行の会などできないだろうか?」これを受け、ユーチャーの視点から「大晦日にお寺でプチ修行」と銘打ち、木魚念佛の実演や参加者の感想を紹介しましたが、やがて5名が7~8名、15名に、20名から30数名となり、昨年は47名が参加しました。構成は本院メンバー3割、初参加の一般の方が3割、ほぼ毎年参加の一般の方が4割で、近年は在留日本人以外の一般のアメリカ人の参加も見られます。



全員がお焼香を行う(別時前)



行道で道場へ

参加のきっかけは「家族の病気・死別」「心新たに新年を」「子どもにも経験を」等が多く、一回目をきっかけに毎年参加する方が顕著です。そのような方がすぐにメンバーになつて寺院を支えるわけではありません。しかし話を伺うと、大晦日の別時が念佛行に初めて触れる機会となり、日常ふとした時に念佛するきっかけになつてきます。以下に参加者の感想（原文は日本語および英語）を紹介します。

「今年は娘と一緒に参加しました。多種多彩の人が集まつて念佛を称えるうちに一つになつていくよに感じた。日頃仕事で忙しく、情報に触れ続ける生活を一時離れ、無心になることができた。」「今年を振り返り、出来事・出会った人々・学んだこと・愛する人達の顔を思い出浮かべながら称えた。」「最初は一なむあみだぶーと言えていたが、やがて意識が飛びそうで言えなくなつてくる。それでも続けていると言葉が戻つてくるかのようになむあみだぶーと言っていた。人生でも時々見えなくなる時があり、がん

ばつているとまた何か見えてくることがあつて人生と同じだと感じた。」「希望を与えるような、リフレッシュされる経験。心つきり新年に入れる。本堂はパラダイスを垣間見るかのよう。」「おじいちゃん・おばあちゃんのことを考えて称えた。」「念佛はリラックスできて好き。木魚の音も落ち着く。」「来年は家族みんなで参加したい。」「今年、日本の父がなくなつたのがきっかけ。葬儀で初めて実家の菩提寺が浄土宗と知り、ウエブでロスのお寺を調べ参加した。」

念佛会参加者が増える中で、徐々に通常の活動も拡大しています。五重相伝から10年を経た今も受者の方々が中心となり当院の活動を支えて下さる一方、昨今では法話としてメンバー子女がアメリカ人の視点から仏教や寺院について語ったり、サンノゼ・ラスベガスなど遠隔地から、法要当日だけロサンゼルスを訪れる方々も見られます。また、3月にはラスベガス在住のメンバー宅に出張し春彼岸を勤めきましたが、要望を受け昨年からは7月のお盆も、今年は9月の秋彼岸も勤



ラスベガスの出向法要

南米開教区

南米開教区開教総監

佐々木 良法

去る令和元年7月18日、南米開教区前開教総監佐々木陽明上人が83歳を以て遷化いたしました。

感恩心院徳蓮社
正僧正満譽上人
良阿顕伯陽明大和尚



佐々木陽明前開教総監

佐々木陽明上人は、1957年、大學在学中に初代開教総監長谷川良信上人に同行してブラジルに開教使として着任、第2代開教総監を長年務め、62年間の長きにわたる開教使人生を全うしました。

本年で67年を迎える浄土宗の南米開教のほぼ全歴史が、佐々木陽明上人の人生の歩みそのものである、といつても過言ではありません。

その開教人生の根底にあったのは、長谷川上人が掲げた、「仏教、教育、福祉三位一体」の開教理念であり、その理念の実現こそが、ブラジルにおいて日系社会が尊敬され、その存在価値を高めるために不可欠な精神的支柱を構築することになる、と南米開教を「社会的事業」として展開すべく、宗派宗教の壁を越えて呼びかけて支持賛同を

集め、サンパウロ別院をはじめ、マリンガ、イビウーラ、クリチバの4寺院を開基し、更に、長谷川上人が創立したブラジル社会初の知的障害者教育施設である社会福祉法人「子どものその」の安定した経営を確立、また、マリンガ日伯寺内に、経済的に社会的に自立困難な日系高齢者

こうした他に例をみない、社会的貢献を重要視した開教事業により、ブラジル日系社会における浄土宗は、他の日系



第一部 追悼法要のようす

が利用する施設「和順ホーム」を、パラナ州全土の日系人で支援する福祉法人「和順会」を創立しました。この2つの福祉団体は、今もなお広く、宗内外にわたる様々な人々の善意あふれる支援を受け、順調に経営しております。

また、ブラジル仏教連合会会長及びサンパウロ文化福祉協会評議員を歴任し、ブラジル日系社会の発展に積極的に取り組みました。

れた長谷川上人の開教理念と、その実現に向けて、自らも一开拓者として共に喜び共に悲しみながら、地道に実績を積み重ねてこられた佐々木陽明上人の情熱あふれる開教の賜物であります。



法要には伊藤唯眞猊下への御親修を賜りました。

宗教団体に比べ、4ヶ寺2福祉団体と組織的には小規模でありますながら、大きな存在意義のある宗派として認められています。個人としても、その長年の社会福祉への努力が評価され旭日双光章を授与、宗門功労者賞も受賞されております。

上記のような今日の南米浄土宗の興隆は、皆が仲良く暮らす社会の未来を見据えて立脚さ

が紹介され、中でも、生前よく

が紹介され、中でも、生前よく

申していいた言葉である「誇り・願い・責任」「念仏する処 我が遺跡なり」について、私(佐々木)がお念仏を、このブラジルの地で申し伝える事で、法然上人の遺跡が増えるという「誇り」その事を後に繋がる人が引継いで欲しいと言う「願い」その為には私自身がそのお手本になる「責任」がある、という話が心に響きました。ブラジルに渡り爾来62年間、念仏弘通と南米開教区の発展を願い続けたその

去る令和元年11月7日、「南米開教区 佐々木陽明師を偲ぶ追悼法要」を題して、佐々木陽明上人の追悼法要とお別れ会がそれぞれ開催されました。

第一部として午後2時より、

追悼法要を総本山知恩院の法然上人御堂に於いて、浄土門主・総本山知恩院門跡伊藤唯眞猊下の御親修を賜り、遠近各地より

有縁の方々がご参列頂きました。又、このように故人を偲ぶ会を催すに当たり発行人を快くお引き受け頂いた諸大徳の皆様には厚く御礼申し上げます。

第二部では、京都ホテルオーラに於いて、佐々木陽明上人を偲ぶお別れ会を開催、関係各位の皆様にご出席賜わりました。

会では、上人の足跡、人となり

奥様の佐々木みどり開教助員



申していいた言葉である「誇り・願い・責任」「念仏する処 我が遺跡なり」について、私(佐々木)がお念仏を、このブラジルの地で申し伝える事で、法然上人の遺跡が増えるという「誇り」その事を後に繋がる人が引継いで欲しいと言う「願い」その為には私自身がそのお手本になる「責任」がある、という話が心に響きました。ブラジルに渡り爾來62年間、念仏弘通と南米開教区の発展を願い続けたその

この度、有縁の皆様より賜りましたご厚情にお応えすべく、南米の大地上に念仏の声が益々響きわたるよう精進していきます。今後とも南米開教区をよろしくお願い申し上げます。

合掌



第二部 お別れ会のようす

思いは、上人が御遷化されてもなお、脈々と南米開教の礎として継承されている事を、皆様と共に共有するお別れ会になりました。

木曜島

毎年、木曜島へはお盆の法要の為に行きます。木曜島は、オーストラリアのクイーンズランドの北端とニューギニアの間に位置する、トレス諸島にあります。brisbaneからそこまで行くには、ケアンズへ飛び、ホーンアイランド行きの飛行機に乗り換え、そこで木曜島行きのフェリーに乗りります。同じ州といえども、一日がかりの長旅です。赤道の近くに位置し、年中暑いので、到着と同時にbrisbaneから着て行つた冬服から急いで着替えます。



修復前の日本人墓地



荒れた日本人墓地

この様な取り組みを12年以上もしていますが、2018年以前のお盆を思い返すと、悲しみの波に飲み込まれていました。それは、墓地が全く整備されておらず、墓石や墓標が傾いて、雑草や木がそこら中に生えていたからです。最初はその様子が、細かいことには何も気にな

かけない、のんびりしたトロピカルアイランドにぴったりだと思っていたのですが、よく見たら数十年放置され、手つかずの状態であることに気が付きました。特に誰が埋葬されているかわからない、名前が書かれていない墓標などはとても状態が悪く、書かれてある梵字が薄くなっていました。他にも

お盆の法話の際、私は普段、お盆の由来や、特に日本における宗教的な習慣などについて話します。しかし、今回はお題を変え、墓標に対する私の思いについて話しました。そして、参列者の方々にも墓地の復旧に手を貸していただけるよう、お願いしました。私たちが一体になれば、できるのではないかと。地元の日本人コミュニティ、市長、日本総領事を含め、皆が

オーストラリア開教地主事 ウィルソン・哲雄

木曜島のお盆法要と日本人墓地修復事業について

を用意してくれます。

この様な取り組みを12年以上

かけてしまった物、下に落ちてしまつた物、その場からなくなつてしまつた物もありました。雨、風、火事そしてシロアリによる影響です。ここに埋葬された哀れな魂は、誰か分からぬだけなく、同時に忘れ去れているのです。この遺憾な状況はどうにかしなければなりませんでした。



お盆前の掃除

聞いていました。すると、驚いたことに皆が私に賛同し、この計画に関わりたいと申し出てくれたのです。

やがて、この計画は動き出しました。木曜島に住む日本人二世のフジイ・チーチーさんの舵取りの元、墓標はケアンズで木を削ったうえで木曜島まで船で運び込みました。役所は、



修復された墓標

墓標を白く塗装、版画も引き受けてくれた上に、新しい墓標の為に穴も掘つてくれました。私は、予めブリスベンにある会社で作ったサンスクリット語の版画の手本を持つて、チーチーさんとお兄さんのラッセルさんに渡しました。そして、日本総領事館からはこの計画全体へ出資していただきました。

この墓標の復元には1年かかりました。最後の墓標は、

2019年8月にお盆法要を行つた。そこで、2019年8月15日、ついに開眼式を執り行いました。木曜島にとってとても重要な催しでした。市長、評議員、日本総領事、オーストラリア国会議員、地元の日本人コミュニティ、TBSレポーターが参加

墓標を白く塗装、版画も引き受けてくれた上に、新しい墓標の為に穴も掘つてくれました。私は、予めブリスベンにある会社で作ったサンスクリット語の版画の手本を持つて、チーチーさんとお兄さんのラッセルさんに渡しました。そして、日本総領事館からはこの計画全体へ出資していただきました。

この墓標の復元には1年かかりました。最後の墓標は、2019年8月にお盆法要を行つた。そこで、2019年8月15日、ついに開眼式を執り行いました。木曜島にとってとても重要な催しでした。市長、評議員、日本総領事、オーストラリア国会議員、地元の日本人コミュニティ、TBSレポーターが参加

しました。私は、1年前に自分がお願いしたこと、皆が一丸となって協力してくれた事に感謝を述べました。これは素晴らしい成果でした。地上は勿論のこと、地面下に生えていたいらない木も除去されました。今では、全ての墓標がきれいに見渡せます。真新しい白い墓標は、知られざる亡くなつた誰の物とも分からぬお墓を、立派に見守つているかの様に見えます。自分たちが忘れられない事を知つてゐる限り、普段、お盆にスクリーンを使うことのない私にとつても初めての経験であり、とまどいがありました。



梵字のスクリーンを現地の藤井兄妹へ



開眼式



皆様の力を合わせる事で事業を成すことができました

今年2020年、淨土宗ヨーロッパ仏教センターは13年目を迎えます。

フランス開教地主事 高僧光隆



上：当協会拠点地アコンでのBBQ、下：2019年お盆

欧州、淨土宗フランス開教地の存在はその設立発案者の故成田有恒台下の法然上人にに対する大きな信頼と希望そして当協会創設披露講話会に香しい仏法の風を流され、その後8年間にわたりパリでの記念講話にお越しください、昨年9月にご遷化された真野龍海台下、そして淨土宗の大きなご理解のお陰です。

今日、世界中で仏教への関心が高まっています。当地においても仏教に関する質問を受けることがしばしばあります。多くの国々、民族、そして長い歴史、各々の文化を持つ欧州で仏教に接し、その意を実践することは非常に興味深いものです。

当協会は毎月「仏教の集い」と称する仏教の勉強会、仏教行事を開催しています。メンバーは淨土宗の人々に限らず仏教や日本文化に興味を持たれている方々です。近年、私達は淨土宗開祖、法然上人提倡するお念仏の理解とその実践に取り組んでいます。当協会の拠点地はパリより西100km、車で1時間少しのところ、ノルマンディー地方の緑に囲まれた谷間、農村地帯にある小村の一軒家です。その小さな家の一室に仏壇を設けています。毎月の行事は

私達の「仏教の集い」を紹介させていただきます。1月は初参りです。新年のお参りをし、参加者各々新年の挨拶、抱負を語り、そして屠蘇をいただく日本式お正月を開いています。

2月は涅槃会。3月は彼岸会と共に東日本大震災の物故者追悼法要。4月は華やかで楽しい行事の花まつり。甘茶もおいしくいただいています。5月、増上寺における24時間不断念佛会参加し、メンバー一同1時間のお念佛に真剣に取り組んでいます。6月は当協会設立記念講話会を開催し、講師を招き講演をお願いしています。7月は親睦バーベキュー

が高まっています。当地においても仏教に関する質問を受けることがあります。多くの国々、民族、そして長い歴史、各々の文化を持つ欧州で仏教に接し、その意を実践することは非常に興味深いものです。

当協会は毎月「仏教の集い」と称する仏教の勉強会、仏教行事を開催しています。メンバーは淨土宗の人々に限らず仏教や日本文化に興味を持たれている方々です。近年、私達は淨土宗開祖、法然上人提倡するお念仏の理解とその実践に取り組んでいます。当協会の拠点地は

パリより西100km、車で1時間少しのところ、ノルマンディー地方の緑に囲まれた谷間、農村地帯にある小村の一軒家です。その小さな家の一室に仏壇を設けています。毎月の行事は

も広がれば思っています。今後とも皆様のご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



念仏会



11周年記念 教宣師会の方々と

を協会拠点地の庭でご近所の人も招き楽しく開催しています。8月はお盆法要。9月は秋の彼岸会と京都・清淨華院における24時間不断念佛会への参加。10月は十夜法要会の別時念佛会を行っています。12月は報恩感謝法要会と忘年会。

「仏教の集い」はその都度お祝迎さま、法然上人の教えの確認、それを生活に生かすことを感じて開催しています。今はこのようなく「仏教の集い」をパリだけでなく、フランスの他の都市、地域でも行いたいと思っています。一昨年よりドイツの方がメンバーに入られ、増上寺で得度式を受けられました。これからはドイツでの活動

御挨拶 —開教総監を拝命して—



ハワイ開教区
開教総監
石川 広宣

「理解」という言葉があります。「理」は、すじ道・条理であり、また万物を支配している法則の摂理であり、仏教が説く法(ダルマ)、すなわち宇宙の真理も「理」であると考えます。次に、「解」とは「とく・とける」「分ける」ことであり、一体となったものを「ばらばらにする」という意味を持つ会意文字です。つまり、「理解」とは、真理に筋道をつけて考えることであり、「分ける」ことによって「分かる」のが、私たち日本人の「理解」です。

一方、英語では、理解することを“Understand (アンダースタンド)”と表現していますが、その語源を考えてみると、「下に」という意味の”Under”と「立つ」という動詞の”Stand”に分けることができます。つまり、英語における「理解」の基本概念は、「分ける」ことではなく「立つ」ことにあり、その場に「立つ」という経験に基づき、ものごとを支配下におくといった征服的なニュアンスがあるのです。

ハワイ語には、「理解する」を意味する言葉のひとつに “Ike(イケ)” という言葉があります。イケの第一義は「見える」という意味で、明らかに見えることがハワイにおける「理解」の基本概念になっています。これはちょうど英語における ”I see” 「見えること=わかること」と同じ表現といってもよいかもしれません。

いうまでもなく、それぞれの言語や文化には、大きな違いがみられます。特にハワイは、多くの国々からの移民・移住の歴史があり、多様性という特色のある土地柄です。しかも、違いのある言語を使って、文化の異なる人々に対して仏教を宣布していくことが容易でないことは、ある意味当然のことかもしれません。しかし、どんなに難しい言葉や概念であっても、一つ一つの言葉を分けて、それぞれの意味を考えていくことによって、説明が可能になっていきますし、異なる言語表現を考えることによって物事の核心に近づくことができる。ここに私は英語で仏教を伝える面白さと喜びを感じております。

仏教は真理の教えです。真理とは、いついかなる時も変わることのない真実の道理でありますので、長い目で見れば人種、言語、文化を越えて必ず理解され広まっていきます。「炎は空に上り水は下り様に流る、これらはみな法爾の道理なり」と法然上人が述べておられるように、疑いようがありません。

法然上人は、理解の達人でありました。仏教の真理、そして膨大な仏教経典の知識を明快に理解され、「選択集」を撰述されました。その真理の中の究極的な教えがお念仏であります。正しい理解をもって、正しい説明が可能であれば、仏教とともに念仏も弘通していく…法爾の道理であると思います。

開教総監を拝命し、希望をもって開教に励んでまいります。

御挨拶



ハワイ開教区
開教使
高野 明宏

ハワイ開教区分院に2019年7月より駐在開教使として赴任しております高野明宏と申します。

ハワイに移り住み半年が経過しました。日本とは違った文化や習慣、また寺院の在り方を日々身をもって学んでおります。

毎週日曜日に定期的にお寺に来て手を合わせていただき、国籍、人種を超えて皆で一所懸命に法然上人のみ教えをお念仏をもって体言する姿勢には感動させられます。

ハワイ別院においては、護寺興隆のためにサンデースクールをもっと活動的にを行い、若い世代の方々にメンバーになって頂けるように尽力していきたいと考えております。

また、既存のメンバーさんとも親密で自然なコミュニケーションをもっと上手にとれるように努め、開教使としてメンバーさんの心の支えとなれるように精進してまいります。

合掌



茨城县小美玉市 清净院

住職 堤 忠春

『清淨院』を立ち上げて早いもので、まる三年が経とうとしております。

清淨院の現在の活動状況

檀信徒ゼロから始まつたお寺でするので立ち上げ当初は正直どうなることやらと思いまして。まずは周知をと考え、チラシやホームページ、看板製作等出来ることから行いました。

多くはないこともあります。しかし、新しいご縁を結ぶことはとても大変です。現状では寺院だけで食べゆくことは難しいので、兼職をしながら電話やメールでの悩み相談も行い、小さなご縁を大切にしております。

地味ですがコツコツやっておりますと、興味を示してくれ

阿弥陀様、お釈迦様、法然上人
の、み教えを真摯に求められて
いる方もいらっしゃいます。
人生相談、グリーフケア等も
そうですが、開教使の姿勢は
そういう方々とのご縁を「わが
こととして」大切にすること
だと考えています。

いくつかある中で特に大事だ
と思うところは『清淨院』を独り
立ちさせることや宗教法人への
格上げです。無い道を開くこと
は決して楽ではありませんが、
道をつくることによつて、一緒
に歩んでくださる方や、その後
をついてこられる方々がいらっしゃ
いますから、お寺の永続性
と縁者との関りをしつかりと
後世まで繋ぐ事がとても大切だ
と感じております。『清淨院』の
本当のスタートラインはそこ
からです。

しゃいますから、お寺の永続性と縁者との関りをしっかりと後世まで繋ぐ事がとても大切だと感じております。『清淨院』の本当のスタートラインはそこからです。

頂きました。建物が決まれば今度は仏具です。そろえるのは大変だなと思つて、矢先ご本尊もそうであつたように貴重な仏具の品々を淨山道場時代の兄弟や友人が送つてくれました。誠に有難いことです。開教使はその名の通り「教えを開き伝える」ことを目的としております。開教を通じ新たにご縁を頂いた方々の中には

貴重な仏具の品々を淨山道場時代の兄弟や友人が送ってくれました。誠に有難いことです。開教使はその名の通り「教えを開き伝える」ことを目的としております。開教を通じ新た

The image consists of two photographs. The top photograph captures a group of approximately ten people gathered around a low, rectangular table covered with a white cloth. On the table are several items, including a small black lantern, a white ceramic bowl, and a variety of colorful flowers in shades of blue, pink, and white. Most individuals are clapping their hands together in front of them. The setting appears to be a traditional Japanese room with wooden walls and a sliding door in the background. The bottom photograph shows the same scene from a different angle, focusing on the spectators. In the foreground, the backs of several people's heads are visible, including a young girl with a blue hair tie and a man in a white shirt. In the center, a person wearing a traditional dark kimono stands with their hands clasped in front of them, facing the table. The room's interior, with its wooden elements and sliding doors, is visible in the background.

*Will you reach you My thoughts
To a connected world
Nam Amida Butu*

友人、知人、ご近所さん、「お寺はじめました」とご挨拶に行くと「じゃあ今度遊びに頂いております。

やホームページ、看板製作等
出来ることから行いました。

る方はいるもので、お寺に物品（工芸品、野菜、植木等）を寄付してくださる方も現れました。

将来の展望

聖蓮寺の活動



聖蓮寺

住職 大和田 聖二

国内開教指定寺院として任命

され三年目の年を迎えました。

任命載いた時より「開教とは?」「どのように布教すべきか?」と悩み、模索しつつ私が感じた県民の仏教へに対する考え方、私の行った布教の仕方を書こうと思います。

沖縄県豊見城市の豊崎は、予想をはるかに上回る発展を見せていました。マンショն、

住宅・リゾート施設・大型ショッピングモールの建設で急成長し人口も急増化しています。このような地域に開教寺院を建立したことに大変やりがいを感じています。

を覚えます。

しかし、県民にとって和尚とは「葬式をする人」というイメージが根強くあります。そこで堅い和尚のイメージを崩すことにしました。その方法として、和尚さんとパン作り、市民農園での苗付けや、サンゴの植え付け、他にも、ジャズコンサート・仮装交流会・正月・花まつり等を開催したのです。

その中で今までの経験を活

かした共生の話をからめながら、和尚さんの話は面白いと思つてもらう事に務めました。

「また話がしたい、聞きたい」と思つてもらう為です。中でも成功したのはパン作りでした。

パン作りは、イースト酵母の作用と活性化、死活化が共生の話とリンクしやすく、又試食の間に交流がとりやすいのです。参加してくれた方は一度、三度と繰り返し来てくれる様になりました。

なり、そこからの口コミで「お話が為になる」「面白いと聞いたので」「気軽に話せる」と、初めての方からの法事依頼に繋がる様になりました。

しかし、そんな良い話ばかりではありません。

以前にも書きましたが、沖縄は檀家制が無く、その為話が面白くない、為にならない、馬が合わないとなると、戒名のつけ方も教えも異なる寺院へ移つてしまふのです。その影響もあり、「南無阿弥陀仏」と書かれていることから、もつとこの海があることは布教の強みであり、いすれこの場所で夕日の集いを開催したいと思います。

また、「数珠森」という古い拝所

ことは、次回へ繋ぎ・向き合う家族と信頼を作り・安心と期待をさせる大切な時間なのです。今後どのように開教していくかは、日々時代と環境に合わせ柔軟に対応していくなければいけないと考えます。

様々な人の寺に求める形を組み入れていかなければいけないと思います。「楽しい場所づくり」それこそが堅いイメージの和尚を崩すことだと感じます。

近くには瀬長島や「美らSunビーチ」という素晴らしい施設があります。このような美しい海があることは布教の強みで和尚を崩すことだと感じます。

近頃には瀬長島や「美らSunビーチ」という素晴らしい施設があります。このような美しい海があることは布教の強みで和尚を崩すことだと感じます。

また、「数珠森」という古い拝所も根強く中々大変ではあります。ですが、そこを無気にせず人の気持ちに寄り添う和尚、寺である事に勧めて参ります。

沖縄にはまだ土着の神信仰のなか葬儀関係や面識のある信徒さんからの依頼を断ると存在を知つて頂くための役割を務めていきたいです。

沖縄にはまだ土着の神信仰も根強く中々大変ではあります。ですが、そこを無気にせず人の気持ちに寄り添う和尚、寺である事に勧めて参ります。

開教使名簿

令和2年2月末日現在

海外開教区

	氏名	赴任寺院
開教総監	石川 広宣	コロア浄土院・カバア浄土院
ハワイ	中野 寛淳	ハワイ浄土宗別院
	高野 明宏	ハワイ浄土宗別院
	江崎 晃司	ハレイワ浄土院
	宮崎 潤心	ヒロ明照院・カーチスタウン浄土院・ハカラウ浄土院
	ワジラワンサ舜爾	ハマクア浄土院・ハヴィイ浄土院・コハラ浄土院
	原 源照	ラハイナ浄土院
	原 潮音	ワイルク浄土院・カフルレイ浄土院
北米	開教総監	後根 定璽
	開教使	田中 孝道
南米	開教総監	佐々木 良法
	開教使	稻場 明忠
		南米浄土宗別院日伯寺
		山田 英規
		南米浄土宗別院日伯寺
		櫻井 聰祐
		イビウーナ日伯寺
		大江田 晃義
		クリチバ日伯寺

海外開教地

氏名	指定地域
ウィルソン 哲雄	オーストラリア・ブリスベン
高僧 光隆	フランス・パリ

国内開教指定寺院

国内開教指定地域	寺院名	住職名
茨城県小美玉市及びその近郊	清淨院	堤 忠春
沖縄県豊見城市及びその近郊	聖蓮寺	大和田 聖二

原則として功績点付与者を
掲載しています。

会員名簿

贊助会員（所属は納入時）

奇玉

埼玉	東京	千葉	神奈川	山梨	新潟	富山	長野	三河	尾張
猿島	第一	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一
宝輪寺	專稱寺	相頓寺	和氣	赤羽	正美	道寬	勝道	田中	自然院
西運寺	西運寺	梅窓院	西運寺	祐孝	正彥	正彥	西運寺	西運寺	西運寺
泰壽院	城西	迎接院	光圓寺	真成	中島	佐藤	亮順	赤羽	西運寺
小林	葛南	葛南	西光寺	祐純	良純	吉古田	了泰	了泰	西運寺
麻谷	京浜	京浜	法間寺	昭仁	雅雄	高田	匡俊	道寬	西運寺
佐藤	北	北	保元寺	智祐	成男	鈴木	了泰	勝道	西運寺
古宇田	淺草	淺草	里見	達人	達人	吉岡	了泰	田中	西運寺
亮順	豐明	大念寺	正行寺	正行寺	正行寺	白石	了泰	勝道	西運寺
赤羽	正彥	大巖寺	蓮勝寺	蓮勝寺	蓮勝寺	柴田	了泰	田中	西運寺
和氣	中島	東明寺	正觀寺	正觀寺	正觀寺	宮澤	了泰	自然院	西運寺
祐孝	佐藤	十劫寺	宗仲寺	宗仲寺	宗仲寺	杉浦	了泰	西運寺	西運寺
正美	吉古田	淨運寺	正安寺	正安寺	正安寺	吉水	了泰	西運寺	西運寺
道寬	高田	大覺寺	不斷寺	不斷寺	不斷寺	由高	了泰	西運寺	西運寺
勝道	吉岡	西願寺	十劫寺	十劫寺	十劫寺	高周	了泰	西運寺	西運寺
田中	了泰	大泉寺	正觀寺	正觀寺	正觀寺	善清	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺	西迎寺	宗仲寺	宗仲寺	宗仲寺	仁司	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺	洞泉寺	正安寺	正安寺	正安寺	哲彥	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺	法岸寺	不斷寺	不斷寺	不斷寺	詮光	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺	來迎寺	淨運寺	淨運寺	淨運寺	謙祐	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺	西德寺	大覺寺	大覺寺	大覺寺	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺	西德寺	西願寺	西願寺	西願寺	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺	寶泉院	大泉寺	大泉寺	大泉寺	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺	建中寺	西迎寺	西迎寺	西迎寺	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺	自然院	洞泉寺	洞泉寺	洞泉寺	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺		法岸寺	法岸寺	法岸寺	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺		來迎寺	來迎寺	來迎寺	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺		西德寺	西德寺	西德寺	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺		寶泉院	寶泉院	寶泉院	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺		建中寺	建中寺	建中寺	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺		自然院	自然院	自然院	了泰	了泰	西運寺	西運寺
西運寺	西運寺					了泰	了泰	西運寺	西運寺

伊勢

山口	廣島	岡山	鳥取	兵庫	大阪	和歌山	奈良	京都	滋賀	伊賀	伊勢
周東第二阿弥陀寺	但馬東	笠岡	因幡	武崎	神戸	泉州	第五	丹後	嵯峨	柏原	城北
西	東	清岸寺	戒善寺	安樂寺	通照院	淨福寺	玄清寺	稱名院	光念寺	法林寺	正覺寺
部	淨嚴寺	願成寺	如來院	甘露寺	大塚	楞嚴寺	貞松院	松林寺	觀音寺	西方寺	清光寺
楠本	高	東善寺	真教寺	加用	永井	小田	佐橋	藤堂	念佛寺	西福寺	上野
無垢品	雄	玄忠寺	戒善寺	隆善	久松	杉森	北川	志野	德林寺	西願寺	念佛寺
		隆臣	義雄	快雄	亨道	元道	俊明	半田	澤田	稻岡	安藤
		信道	雅愛	謙	正運	壽孝	彥純	牛田	牧	弘誓寺	横井
				樹	隆志	俊正	泰壽	森	高田	玄光院	信之
				三枝樹	義雄	顯誠	一応	内藤	内田	專念寺	壽康
					曾和	俊光	敬誠	志野	達玄	宮寄	鎌
					隆善	彰彦	寬紹	山名	英正	光彥	信
					隆善	俊正	和樹	岡崎	裕樹	正純	康
					亨道	顯誠	俊正	山田	達玄	秀雄	
					正運	俊正	俊正	田	達玄	明德	
					義雄	俊正	俊正				

正会員

平成30年4月1日～平成31年3月31日

青森

北海道第二	東	小樽	天上寺	石上	源暉
青森	北	弘南	大然寺	大高	有半
東青	西	新善光寺	淨土寺	渡部	德中
淨滿寺	弘	龍雲寺	報恩寺	小山	英明
称光寺	南	天德寺	誓願寺	稻垣	良孝
大善寺	長	阿弥陀寺	菩提寺	太田	真賀
願昌寺	寺	貞昌寺	若木	高橋	宗憲
法王寺	西	天德寺	松岡	丸山	祐一
法王寺	弘	相馬	赤平	片山	立淨
法王寺	南	古川	法道	智宮	教
佐藤	西	孝旌	泰正	良淳	
小山内	北	直朗		俊考	
大屋	東	惠漁		良淳	
三上	南	拓應			
長尾	西				

福岡

西周	海藏寺	原田	戒城
海藏寺	原田	大雲	
定念寺	井藤	憲彭	
光寺	稻田	惠一	
東山寺	原田	勇折	
教安寺	橋本	定雄	

神奈川	安房	千葉	葛飾	東總	京浜	港北	港南	藤田	伊藤	長谷川	郡嶋	小林	覺道
新蓮寺	淨蓮寺	南龍寺	極樂寺	正藏寺	大光院	宗泉寺	淨念寺	西林寺	三佛寺	大運寺	高德院	知足寺	金台寺
大嚴寺	長谷川	南龍寺	長谷川	大藏寺	宮林	横井	橋下	吉川	吉川	橋下	賢明院	中見	千葉
極樂寺	匡成	長谷川	郡嶋	專修	宮林	隆昌院	賢明院	瑞浩院	瑞浩院	俊峰院	雄彥院	相馬	葛飾
正藏寺	廣宣	慶成	覺道	俊峰院	廣宣院	佐々木	俊峰院	洋之院	義晴院	義晴院	孝雄院	佐々木	東總
大光院	大吉	慶成	廣宣	義晴院	義晴院	都築	都築	顯道院	顯道院	顯道院	英一院	英一院	京浜
宗泉寺	匡成	廣宣	廣宣	顯道院	顯道院	藤井	藤井	隆善院	隆善院	隆善院	英滋院	英滋院	葛飾
淨念寺	南龍寺	南龍寺	南龍寺	英滋院	英滋院	中嶋	中嶋	秀雄	秀雄	勝彦	公善院	智順院	新川
西林寺	南龍寺	南龍寺	南龍寺	公善院	公善院	金子	金子	秀雄	秀雄	勝彦	幸隆院	幸隆院	水波
三佛寺	南龍寺	南龍寺	南龍寺	幸隆院	幸隆院	十念寺	十念寺	裕山	裕山	裕山	定昱院	定昱院	高田
大運寺	南龍寺	南龍寺	南龍寺	定昱院	定昱院	圓通院	圓通院	新出	新出	新出	尚尙院	尚尙院	甲府
高德院	南龍寺	南龍寺	南龍寺	尚尙院	尚尙院	觀音寺	觀音寺	水野	水野	水野	古田	古田	新川
知足寺	南龍寺	南龍寺	南龍寺	古田	古田	往生寺	往生寺	往生寺	往生寺	往生寺	長谷寺	長谷寺	長野
中見	南龍寺	南龍寺	南龍寺	長谷寺	長谷寺	寬慶寺	寬慶寺	靜松寺	靜松寺	觀音寺	淨蓮寺	淨蓮寺	長野
相馬	南龍寺	南龍寺	南龍寺	淨蓮寺	淨蓮寺	西光寺	西光寺	觀音寺	觀音寺	觀音寺	法學寺	法學寺	富山
佐々木	南龍寺	南龍寺	南龍寺	法學寺	法學寺	丸山	丸山	櫻井	櫻井	櫻井	樹院	樹院	新潟
俊峰院	南龍寺	南龍寺	南龍寺	樹院	樹院	小柳	小柳	水科	水科	水科	大澤寺	大澤寺	新潟
義浩院	南龍寺	南龍寺	南龍寺	大澤寺	大澤寺	古田	古田	吉水	吉水	吉水	清水	清水	長野
顯道院	南龍寺	南龍寺	南龍寺	清水	清水	幸降院	幸降院	里委	里委	里委	育道院	育道院	葛飾
英滋院	南龍寺	南龍寺	南龍寺	尚尙院	尚尙院	幸降院	幸降院	幸降院	幸降院	幸降院	神奈川	神奈川	葛飾
英滋院	南龍寺	南龍寺	南龍寺	神奈川	神奈川	英滋院	英滋院	英滋院	英滋院	英滋院	神奈川	神奈川	葛飾

佐久

上
小

更埴

二
江

静
固

京都

大津

光福寺 善導院 玲窓院 素仙院 瑞林院 養源院 禪法寺 福藏寺 清賢院 上野 平田 中伊藤
瑞泉院 龍光院 照臨院 顯岑院 金光院 渡邊 河合 青山 中田 伊藤
大塚 本庄 白壽 戸川 入江 斎藤 大矢 昌紀 真隆 敬祥 幸弘
攝取院 心光院 福藏院 西福寺 福院 井上 龍光 顯成 孝雄
淨念寺 阿弥陀寺 三縁寺 長源寺 藤田 富田 本庄 公嗣
長源寺 村橋 村橋 村橋 富田 田中 公嗣
西昌寺 三縁寺 高樹院 本光院 大津 大津 一沖 良英
永運院 永運院 高樹院 本光院 大津 大津 明香 克彦
淨源院 淨源院 本光院 本光院 大津 大津 光昭 孝俊
來迎院 大蓮寺 本光院 本光院 大津 大津 聰昭
稱名寺 大念寺 佐伯 安井 竹村 竹村 邦彥
城安寺 生蓮寺 芳井 安井 豊原 宮戸 隆範
稱名寺 大念寺 鈴木 佐伯 番山 尚隆
常光院 岩井 土方 岩井 佐伯 佐伯 雅純
正覺寺 三縁寺 堀池 芳井 番山 俊定
天性寺 岩井 土方 岩井 佐伯 佐伯 光成
淨教寺 後藤 光山 光山 佐伯 佐伯 真司
透玄寺 正覺寺 光德寺 常光院 岩井 了彥
春長寺 天性寺 光德寺 常光院 岩井 弘道
義教寺 天性寺 正覺寺 光德寺 岩井 勝弘
後藤 光山 光山 佐伯 佐伯 昌也
克明公 當麻 三縁寺 岩井 了彥 智章
友寔公 當麻 三縁寺 岩井 了彥 介隆
義教寺 佐伯 佐伯 佐伯 佐伯 俊雄
後藤 佐伯 佐伯 佐伯 佐伯 俊雄
透玄寺 佐伯 佐伯 佐伯 佐伯 俊雄
淨教寺 佐伯 佐伯 佐伯 佐伯 俊雄
春長寺 佐伯 佐伯 佐伯 佐伯 俊雄
天性寺 佐伯 佐伯 佐伯 佐伯 俊雄
淨教寺 佐伯 佐伯 佐伯 佐伯 俊雄
後藤 佐伯 佐伯 佐伯 佐伯 俊雄

大官

一
冬

宇治

洛南

西正寺	澤崎	芳誠
竹林寺	浦田	裕人
攝取院	松葉	昌典
常安寺	田村	和教
蓮乘寺	登田	正樹
誠心寺	井上	承爾
常泰寺	前澤	泰宏
觀音寺	大河内	良賢
光照寺	池上	寛成
常念寺	澤田	長谷雄
正法寺	井畑	良祐
榮運院	松葉	稔弘
勝念寺	吉水	俊明
三宝寺	五島	昭彥
西光寺	宮田	典彥
大信寺	光成	輝道
大蓮寺	山中	信生
龍源寺	山村	弘憲
阿弥陀寺	岩井	太郎
寶圓寺	森	信生
西岸寺	羽田	法寿
淨雲寺	小坂井	淳弘
光傳寺	山中	隆央
西運寺	久夫	忠住
願生寺	德山	久夫
是住院	山口	貞博
懸塚寺	木村	弘文
誓祐寺	菱田	慶信
一念寺	高木	源弘
本光寺	菱田	元興
惠光院	安藤	俊也
海德寺	長谷川	和彦
阿弥陀寺	平	祐朋
三輪		正仁
永福寺	水谷	正人
光林寺	木本	弘昭
淨貞院	松尾	浩亮
三緣寺	水谷	宏道
大念寺	木本	工善
常念寺	本多	廣賢
法泉寺	野田	博之
南昌院	横井	浩之

相樂

八
幅

嵯峨

南城

西念寺	山口
西福寺	西本
阿弥陀寺	梶浦
藥師寺	小松
長福寺	大野
西願寺	川添
應源寺	三田
長泉寺	西山
念仏寺	家田
極樂寺	大橋
光照寺	大塚
極樂寺	大橋
極樂寺	德光
阿弥陀寺	板倉
三縁寺	伊東
櫟	大橋
瑞泉寺	松山
念仏寺	山田
長光寺	森
安養寺	喜早
長福寺	松村
地蔵院	井上
深廣寺	竹田
龍福寺	西尾
觀音寺	西尾
宝國寺	登田
瑞泉寺	西村
安樂寺	西尾
西福寺	西尾
正覺寺	西尾
淨光寺	西尾
大龍寺	西尾
袋中菴	西尾
導行寺	西尾
慰稱寺	西尾
爲因寺	西尾
福泉寺	西尾
往生院	吉田
尊故院	杉田
善福寺	鈴木
長泉寺	水野
西光庵	八尾
西光寺	木村

奈良

第二 第四 第六 第七 第八 第十

丹後

船
季

龜
面

正定院	阿弥陀寺	阿弥陀寺	泰春
德林寺	法然寺	念佛寺	森
樂音寺	稱念寺	円覺寺	内藤
奧院	久松	直指庵	一応
阿日寺	安藤	小松寺	靖高
常谷寺	半田	淨福寺	峻道
大橋	原田	極樂寺	博雄
細川	上田	西光寺	善應
家中	井上	大圓寺	裕也
出口	小塚	專念寺	秀範
本願寺	前田	念佛寺	昌彦
極樂寺	平田	常福寺	芳隆
念佛寺	大澤	晴明寺	清志
寶嚴寺	奥田	大恩寺	昌信
常立寺	横田	長安寺	亮我
極樂寺	北元	願生寺	光信
天寧寺	真田	淨仙寺	昭性
榮照院	奥田	安樂寺	良生
聖德寺	田中	法鷲寺	顯雄
松林寺	小泉	天然寺	康道
天然寺	加藤	淨土寺	賢祐
淨土寺	嵐	淨欣寺	辰弘
淨仙寺	中島	安樂寺	典弘
安樂寺	嵐	願生寺	和広
法鷲寺	嵐	願生寺	忠夫
天然寺	中島	淨仙寺	法俊
長德寺	牛田	淨仙寺	正道
西光寺	古寺	安樂寺	貞良
常立寺	大野	法鷲寺	照幸
極樂寺	森本	天然寺	泰淳
念佛寺	小川	淨土寺	康彰
寶嚴寺	山本	淨欣寺	文明
常谷寺	牛田	安樂寺	章考
阿日寺	中島	法鷲寺	光教
大橋	小野	天然寺	敬誠
細川	柴山	淨土寺	学道
家中	野鳥	淨欣寺	泰淳
出口	紅氏	安樂寺	文明

和歌山
大阪

兵庫

武崎灘

神戸

泉南

泉北

三州	大分	熊本	長崎	佐賀	福岡	愛媛	南海
富嶠	第三	第二	五島	平戸	大諫	東部	宇和島
第四				長崎	西部	福岡	松山
圓福寺				東部	柏屋	宗像	東予
法然寺				福岡	鞍手	東筑	高知
海徳寺				西部	宗像	南宇和	香川
正覺寺				東部	鞍手	宇和島	真光寺
淨泉寺				福岡	東筑	南宇和	香佛寺
圓福寺				西部	福岡	宇和島	淨願寺
田村				東部	柏屋	南宇和	西蓮寺
多賀				福岡	宗像	宇和島	榮養寺
田村				西部	鞍手	宇和島	靈岩寺
法然寺				東部	東筑	宇和島	淨光寺
正覺寺				福岡	福岡	宇和島	花本
淨泉寺				西部	柏屋	南宇和	長建寺
圓福寺				東部	宗像	宇和島	金光寺
田村				福岡	鞍手	宇和島	淨念寺
多賀				西部	東筑	宇和島	隈江
田村				東部	福岡	宇和島	松田
法然寺				福岡	柏屋	宇和島	長江
正覺寺				西部	宗像	宇和島	限江
淨泉寺				東部	鞍手	宇和島	中村
圓福寺				福岡	東筑	宇和島	市川
田村				西部	福岡	宇和島	竹原
多賀				東部	柏屋	宇和島	上野
田村				福岡	宗像	宇和島	元生
法然寺				西部	鞍手	宇和島	和幸
正覺寺				東部	東筑	宇和島	哲司
淨泉寺				福岡	福岡	宇和島	宏文
圓福寺				西部	柏屋	宇和島	真澄
田村				東部	宗像	宇和島	寛志
多賀				福岡	鞍手	宇和島	在徹
田村				西部	東筑	宇和島	哲司
法然寺				東部	福岡	宇和島	元生
正覺寺				福岡	柏屋	宇和島	和幸
淨泉寺				西部	宗像	宇和島	哲司
圓福寺				東部	鞍手	宇和島	宏文
田村				福岡	東筑	宇和島	真澄
多賀				西部	福岡	宇和島	寛志
田村				東部	柏屋	宇和島	在徹
法然寺				福岡	宗像	宇和島	哲司
正覺寺				西部	鞍手	宇和島	元生
淨泉寺				東部	東筑	宇和島	和幸
圓福寺				福岡	柏屋	宇和島	哲司
田村				西部	宗像	宇和島	宏文
多賀				東部	鞍手	宇和島	真澄
田村				福岡	東筑	宇和島	寛志
法然寺				西部	福岡	宇和島	在徹
正覺寺				東部	柏屋	宇和島	哲司
淨泉寺				福岡	宗像	宇和島	元生
圓福寺				西部	鞍手	宇和島	和幸
田村				東部	東筑	宇和島	哲司
多賀				福岡	柏屋	宇和島	宏文
田村				西部	宗像	宇和島	真澄
法然寺				東部	鞍手	宇和島	寛志
正覺寺				福岡	東筑	宇和島	在徹
淨泉寺				西部	福岡	宇和島	哲司
圓福寺				東部	柏屋	宇和島	元生
田村				福岡	宗像	宇和島	和幸
多賀				西部	鞍手	宇和島	哲司
田村				東部	東筑	宇和島	宏文
法然寺				福岡	柏屋	宇和島	真澄
正覺寺				西部	宗像	宇和島	寛志
淨泉寺				東部	鞍手	宇和島	在徹
圓福寺				福岡	東筑	宇和島	哲司
田村				西部	福岡	宇和島	元生
多賀				東部	柏屋	宇和島	和幸
田村				福岡	宗像	宇和島	哲司
法然寺				西部	鞍手	宇和島	宏文
正覺寺				東部	東筑	宇和島	真澄
淨泉寺				福岡	柏屋	宇和島	寛志
圓福寺				西部	宗像	宇和島	在徹
田村				東部	鞍手	宇和島	哲司
多賀				福岡	東筑	宇和島	元生
田村				西部	福岡	宇和島	和幸
法然寺				東部	柏屋	宇和島	哲司
正覺寺				福岡	宗像	宇和島	宏文
淨泉寺				西部	鞍手	宇和島	真澄
圓福寺				東部	東筑	宇和島	寛志
田村				福岡	柏屋	宇和島	在徹
多賀				西部	宗像	宇和島	哲司
田村				東部	鞍手	宇和島	元生
法然寺				福岡	東筑	宇和島	和幸
正覺寺				西部	福岡	宇和島	哲司
淨泉寺				東部	柏屋	宇和島	宏文
圓福寺				福岡	宗像	宇和島	真澄
田村				西部	鞍手	宇和島	寛志
多賀				東部	東筑	宇和島	在徹
田村				福岡	柏屋	宇和島	哲司
法然寺				西部	宗像	宇和島	元生
正覺寺				東部	鞍手	宇和島	和幸
淨泉寺				福岡	東筑	宇和島	哲司
圓福寺				西部	福岡	宇和島	宏文
田村				東部	柏屋	宇和島	真澄
多賀				福岡	宗像	宇和島	寛志
田村				西部	鞍手	宇和島	在徹
法然寺				東部	東筑	宇和島	哲司
正覺寺				福岡	柏屋	宇和島	元生
淨泉寺				西部	宗像	宇和島	和幸
圓福寺				東部	鞍手	宇和島	哲司
田村				福岡	東筑	宇和島	宏文
多賀				西部	福岡	宇和島	真澄
田村				東部	柏屋	宇和島	寛志
法然寺				福岡	宗像	宇和島	在徹
正覺寺				西部	鞍手	宇和島	哲司
淨泉寺				東部	東筑	宇和島	元生
圓福寺				福岡	柏屋	宇和島	和幸
田村				西部	宗像	宇和島	哲司
多賀				東部	鞍手	宇和島	宏文
田村				福岡	東筑	宇和島	真澄
法然寺				西部	福岡	宇和島	寛志
正覺寺				東部	柏屋	宇和島	在徹
淨泉寺				福岡	宗像	宇和島	哲司
圓福寺				西部	鞍手	宇和島	元生
田村				東部	東筑	宇和島	和幸
多賀				福岡	柏屋	宇和島	哲司
田村				西部	宗像	宇和島	宏文
法然寺				東部	鞍手	宇和島	真澄
正覺寺				福岡	東筑	宇和島	寛志
淨泉寺				西部	福岡	宇和島	在徹
圓福寺				東部	柏屋	宇和島	哲司
田村				福岡	宗像	宇和島	元生
多賀				西部	鞍手	宇和島	和幸
田村				東部	東筑	宇和島	哲司
法然寺				福岡	柏屋	宇和島	宏文
正覺寺				西部	宗像	宇和島	真澄
淨泉寺				東部	鞍手	宇和島	寛志
圓福寺				福岡	東筑	宇和島	在徹
田村				西部	福岡	宇和島	哲司
多賀				東部	柏屋	宇和島	元生
田村				福岡	宗像	宇和島	和幸
法然寺				西部	鞍手	宇和島	哲司
正覺寺				東部	東筑	宇和島	宏文
淨泉寺				福岡	柏屋	宇和島	真澄
圓福寺				西部	宗像	宇和島	寛志
田村				東部	鞍手	宇和島	在徹
多賀				福岡	東筑	宇和島	哲司
田村				西部	福岡	宇和島	元生
法然寺				東部	柏屋	宇和島	和幸
正覺寺				福岡	宗像	宇和島	哲司
淨泉寺				西部	鞍手	宇和島	宏文
圓福寺				東部	東筑	宇和島	真澄
田村				福岡	柏屋	宇和島	寛志
多賀				西部	宗像	宇和島	在徹
田村				東部	鞍手	宇和島	哲司
法然寺				福岡	東筑	宇和島	元生
正覺寺				西部	福岡	宇和島	和幸
淨泉寺				東部	柏屋	宇和島	哲司
圓福寺				福岡	宗像	宇和島	宏文
田村				西部	鞍手	宇和島	真澄
多賀				東部	東筑	宇和島	寛志
田村				福岡	柏屋	宇和島	在徹
法然寺				西部	宗像	宇和島	哲司
正覺寺				東部	鞍手	宇和島	元生
淨泉寺				福岡	東筑	宇和島	和幸
圓福寺				西部	福岡	宇和島	哲司
田村				東部	柏屋	宇和島	宏文
多賀				福岡	宗像	宇和島	真澄
田村				西部	鞍手	宇和島	寛志
法然寺				東部	東筑	宇和島	在徹
正覺寺				福岡	福岡	宇和島	哲司
淨泉寺				西部	柏屋	宇和島	元生
圓福寺				東部	宗像	宇和島	和幸
田村				福岡	鞍手	宇和島	哲司
多賀				西部	東筑	宇和島	宏文
田村				福岡	福岡	宇和島	真澄
法然寺				西部	柏屋	宇和島	寛志
正覺寺				東部	宗像	宇和島	在徹
淨泉寺				福岡	鞍手	宇和島	哲司
圓福寺				西部	東筑	宇和島	元生
田村				福岡	福岡	宇和島	和幸
多賀				西部	柏屋	宇和島	哲司
田村				福岡	宗像	宇和島	宏文
法然寺				西部	鞍手	宇和島	真澄
正覺寺				東部	東筑	宇和島	寛志
淨泉寺				福岡	福岡	宇和島	在徹
圓福寺				西部	柏屋	宇和島	哲司
田村				福岡	宗像	宇和島	元生
多賀				西部	鞍手	宇和島	和幸
田村				福岡	東筑	宇和島	哲司
法然寺				西部	福岡	宇和島	宏文
正覺寺				東部	柏屋	宇和島	真澄
淨泉寺				福岡	宗像	宇和島	寛志
圓福寺				西部	鞍手	宇和島	在徹
田村				福岡	東筑	宇和島	哲司
多賀				西部	福岡	宇和島	元生
田村				福岡	柏屋	宇和島	和幸
法然寺				西部	宗像	宇和島	哲司
正覺寺				東部	鞍手	宇和島	宏文
淨泉寺				福岡	東筑	宇和島	真澄
圓福寺				西部	福岡	宇和島	寛志
田村				福岡	柏屋	宇和島	在徹
多賀				西部	宗像	宇和島	哲司
田村				福岡	鞍手	宇和島	元生
法然寺				西部	東筑	宇和島	和幸
正覺寺				福岡	福岡	宇和島	哲司
淨泉寺				西部	柏屋	宇和島	宏文
圓福寺				東部	宗像	宇和島	真澄
田村				福岡	鞍手	宇和島	寛志
多賀				西部	東筑	宇和島	在徹
田村				福岡	福岡	宇和島	哲司
法然寺				西部	柏屋	宇和島	元生
正覺寺				東部	宗像	宇和島	和幸
淨泉寺				福岡	鞍手	宇和島	哲司
圓福寺				西部	東筑	宇和島	宏文
田村				福岡	福岡	宇和島	真澄
多賀				西部	柏屋	宇和島	寛志
田村				福岡	宗像	宇和島	在徹
法然寺				西部	鞍手	宇和島	哲司
正覺寺				東部	東筑	宇和島	元生
淨泉寺				福岡	福岡	宇和島	和幸
圓福寺				西部	柏屋	宇和島	哲司
田村				東部	宗像	宇和島	宏文
多賀				福岡	鞍手	宇和島	真澄
田村				西部	東筑	宇和島	在徹
法然寺				福岡	福岡	宇和島	哲司
正覺寺				西部	柏屋	宇和島	元生
淨泉寺				東部	宗像	宇和島	和幸
圓福寺				福岡	鞍手	宇和島	哲司
田村				西部	東筑	宇和島	宏文
多賀				福岡	福岡	宇和島	真澄
田村				西部	柏屋	宇和島	寛志
法然寺				東部	宗像	宇和島	在徹
正覺寺				福岡	鞍手	宇和島	哲司
淨泉寺				西部	東筑	宇和島	元生
圓福寺				福岡	福岡	宇和島	和幸
田村				西部</			

鹿兒島 浄福寺 法隆寺 川畑 中園
沖繩 源空寺 山本 伸宏
淨土寺 常幸寺 島袋 憲光
伊波 清慈 幸雅 牧生

浄土宗開教振興協会 平成30年度事業報告

協會事業

①出版事業

- ・開教振興協会会報『開教』第36号発行 8,000部
 - ・『Pure Land Life』(英語版) 第32号発行 3,000部
 - ・月刊カレンダーポルトガル語版
(南米開教区へ) 4,000部

浄土宗から贈呈

- | | | |
|----------|-------------|------|
| ・月訓カレンダー | ハワイ開教区 | 450部 |
| | 北米開教区 | 335部 |
| | オーストラリア開教地 | 50部 |
| | フランス開教地 | 30部 |
| | 国内開教地域(2ヶ寺) | 100部 |
| ・宝曆 | ハワイ開教区 | 42部 |
| | 北米開教区 | 85部 |
| | オーストラリア開教地 | 50部 |
| | フランス開教地 | 30部 |
| | 国内開教地域(2ヶ寺) | 100部 |

②推進協力事業

1. 国内開教地域への支援

浄土宗新聞・行事シリーズ・かるな・てらこやブックス
配布

次の指定地域に対し、指定解除まで無償配布

○平成30年度

- 茨城県小美玉市及びその近郊
(堤 忠春師 清淨院 2期目)
 - 沖縄県豊見城市及びその近郊
(大和田 聖二師 聖蓮寺 2期目)

2. 海外開教区・開教地への支援

①ハワイ開教区

ハワイ移民150周年記念事業（歌舞伎鑑賞）

②南米開教區

訪問布教推進事業（車両購入）

③オーストラリア開教地

法式實踐（成長儀禮）研修

東日本大震災法要・寺子屋事業

③その他事業

第9回開教公開カンファレンスの開催

日 時 平成30年11月16日(金)
午後1時～午後5時

會 場 淨十宗教化研修會館

テーマ 「海外開教区存亡の危機 ～基督教化からの脱却を目指す～」

	平成30年度	会員数
会員数	名譽会員	0名
開教振興協会	賛助会員	1名
淨土宗	正会員	1,044名

淨土宗開教振興協會役員名簿

令和2年2月末日現在

役職	氏名	教区・役職	所属寺院
会長	川中 光教	宗務総長	
副会長	宮林 雄彦	宗務役員	
	杉山 俊明	千葉	淨國寺
理事長	樋口 英信	福岡	長徳寺
副理事長	田中 康道	尾張	雲谷寺
常務理事	千野 法人	千葉	最勝院
	新谷 仁海	東京	功德林寺
	笠原 泰淳	東京	林海庵
理事	前田 晃秀	滋賀	若王寺
	永江 憲昭	福岡	一心寺
	井上 歩導	北一	稱念寺
	中村 瑞貴	宮城	愚鈍院
	山下 法彦	伊勢	樹敬寺
	中山 孝志	新潟	西福寺
	浦上 博隆	兵庫	常樂寺
	財津 元生	愛媛	真光寺
	大江田 紘義	宮城	西方寺
監事	土屋 正道	東京	観智院
	中村 在徹	愛媛	淨念寺

平成30年度
浄土宗開教振興協会歳入歳出決算書

平成30年4月1日～同31年3月31日

基本資金部【歳入の部】

(単位:円)

款項	目	平成30年度 予算額	平成30年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	会費収入	0	200,000	200,000			
1.	特別会費収入	0	200,000	200,000			
1.	名誉会員会費収入	0	0	0	1. 名誉会員会費	0	
2.	賛助会員会費収入	0	200,000	200,000	1. 賛助会員会費	200,000	20万円×1人
2.	積立金受入収入	153,810,000	153,810,000	0			
1.	積立金受入収入	153,810,000	153,810,000	0			
1.	積立金受入収入	153,810,000	153,810,000	0	1. 積立金受入金	153,810,000	
3.	返済金収入	0	0	0			
1.	貸付金返済収入	0	0	0			
1.	貸付金返済収入	0	0	0	1. 国内開教指定寺院 貸付金返済金	0	
4.	緑入金	0	0	0			
1.	運用資金部緑入金	0	0	0			
1.	運用資金部緑入金	0	0	0	1. 運用資金部緑入金	0	
歳入合計		153,810,000	154,010,000	200,000			

基本資金部【歳出の部】

(単位:円)

款項	目	平成30年度 予算額	平成30年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	積立金積立	153,810,000	154,010,000	200,000			
1.	積立金積立	153,810,000	154,010,000	200,000			
1.	積立金積立	153,810,000	154,010,000	200,000	1. 積立金積立	154,010,000	平成30年度末積立金額
2.	貸付金支出	0	0	0			
1.	貸付金支出	0	0	0			
1.	貸付金支出	0	0	0	1. 奨学貸付金	0	
					2. 開教区貸付金	0	
					3. 国内開教貸付金	0	
					4. 運用資金部貸付金	0	
歳出合計		153,810,000	154,010,000	200,000			

運用資金部【歳入の部】

(単位:円)

款項	目	平成30年度 予算額	平成30年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	会費収入	11,500,000	10,440,000	△ 1,060,000			
1.	正会員会費収入	11,500,000	10,440,000	△ 1,060,000			
1.	正会員会費収入	11,500,000	10,440,000	△ 1,060,000	1. 正会員会費	10,440,000	会員1044名
2.	寄付金収入	400,000	2,590,000	2,190,000			
1.	特別寄付金収入	400,000	2,590,000	2,190,000			
1.	特別寄付金収入	400,000	2,590,000	2,190,000	1. 一般寄付収入	490,000	
					2. 指定寄付収入	2,100,000	2件 北米2件、フランス1件、 オーストラリア1件
3.	財産運用収入	11,200	892	△ 10,308			
1.	資金運用収入	11,200	892	△ 10,308			
1.	預貯金利子収入	11,200	892	△ 10,308	1. 基本資金利子	875	
					2. 運用資金利子	17	
4.	雑収入	0	0	0			
1.	雑収入	0	0	0			
1.	諸収入	0	0	0	1. 諸収入	0	
5.	繰越金	15,000,000	17,744,456	2,744,456			
1.	繰越金	15,000,000	17,744,456	2,744,456			
1.	繰越金	15,000,000	17,744,456	2,744,456	1. 繰越金	17,744,456	平成29年度会計より
歳入合計		26,911,200	30,775,348	3,864,148			

運用資金部【歳出の部】

(単位：円)

款項	目	平成30年度 予算額	平成30年度 決算額	予算との 比較増減	節	節額	摘要
1. 会議費		2,530,000	1,147,816	△ 1,382,184			
1. 理事会	1. 理事会	1,600,000	769,356	△ 830,644			
1. 理事会	1. 理事会	1,300,000	769,356	△ 530,644	1. 理事会	769,356	2回(6/19、2/12)開催 旅費等
2. 常務理事会	2. 常務理事会	300,000	0	△ 300,000	1. 常務理事会	0	
2. 監査会	1. 監査会	50,000	48,900	△ 1,100			
2. 監査会	1. 監査会	50,000	48,900	△ 1,100	1. 監査会	48,900	1回(5/29)開催 旅費
3. 企画委員会	1. 企画委員会	880,000	329,560	△ 550,440			
3. 企画委員会	1. 企画委員会	880,000	329,560	△ 550,440	1. 企画委員会	329,560	2回(6/4、8/29)開催 旅費
2. 事業費		8,480,000	4,590,432	△ 3,889,568			
1. 出版費	1. 会報発行費	3,600,000	2,521,575	△ 1,078,425			
1. 出版費	1. 会報発行費	1,000,000	721,440	△ 278,560	1. 開教発行費	721,440	『開教』第36号8,000部発行
2. 教化資料等出版費	2. 教化資料等出版費	2,600,000	1,800,135	△ 799,865	1. 英字冊子発行費	437,880	[Pure Land Life] 第32号3,000部発行
					2. 教化資料出版費	1,175,320	ポルトガル語版月刊カレンダー(含送料)
					3. 広報資料費	186,935	月刊カレンダー・宝暦買上げ
2. 推進協力費	1. 事業支援費	4,880,000	2,068,857	△ 2,811,143			
2. 推進協力費	1. 事業支援費	4,880,000	2,068,857	△ 2,811,143	1. ハワイ開教区	547,054	ハワイ移民150周年記念事業助成
					2. 北米開教区	0	
					3. 南米開教区	351,615	訪問布教用車両購入補助
					4. 海外開教地事業費	505,621	開教地開教使面談及び研修のための旅費等
					5. 国内開教指定地域	168,709	教化資料支援費
					6. 企画・調査費	0	
					7. 広報事業費	495,858	開教カタログ月刊諸経費
					8. その他事業費	0	
3. 特別指定寄付金		300,000	2,100,000	1,800,000			
1. 特別指定寄付金	1. 特別指定寄付金	300,000	2,100,000	1,800,000			
1. 特別指定寄付金	1. 特別指定寄付金	300,000	2,100,000	1,800,000	1. 特別指定寄付金	2,100,000	北米2件、フランス1件、オーストラリア1件
4. 補助費		300,000	0	△ 300,000			
1. 補助費	1. 補助費	300,000	0	△ 300,000			
1. 補助費	1. 補助費	300,000	0	△ 300,000	1. 補助費	0	
5. 渉外費		100,000	20,000	△ 80,000			
1. 渉外費	1. 渉外費	100,000	20,000	△ 80,000			
1. 渉外費	1. 渉外費	100,000	20,000	△ 80,000	1. 渉外費	20,000	ハワイ開教区檀柴総監葬儀供花代
6. 事務費		2,050,000	1,563,777	△ 486,223			
1. 事務費	1. 事務費	800,000	400,512	△ 399,488			
1. 事務費	1. 事務費	800,000	400,512	△ 399,488	1. 事務費	400,512	郵便発送費／振込手数料／その他
2. 会員募集事務費	1. 教区還付費	1,250,000	1,163,265	△ 86,735			
2. 会員募集事務費	1. 教区還付費	1,150,000	1,045,000	△ 105,000	1. 教区還付費	1,045,000	教区事務費交付30年度分
	2. 募集活動費	100,000	118,265	18,265	1. 募集活動費	118,265	
7. 總出金		0	0	0			
1. 基本資金部総出金	1. 基本資金部総出金	0	0	0			
1. 基本資金部総出金	1. 基本資金部総出金	0	0	0	1. 基本資金部総出金	0	
7. 予備費		13,151,200	0	△ 13,151,200			
1. 予備費	1. 予備費	13,151,200	0	△ 13,151,200			
1. 予備費	1. 予備費	13,151,200	0	△ 13,151,200	1. 予備費	0	
歳出合計	歳出合計	26,911,200	9,422,025	△ 17,489,175			

本年度運用資金部の歳入総額は ¥30,775,348 である

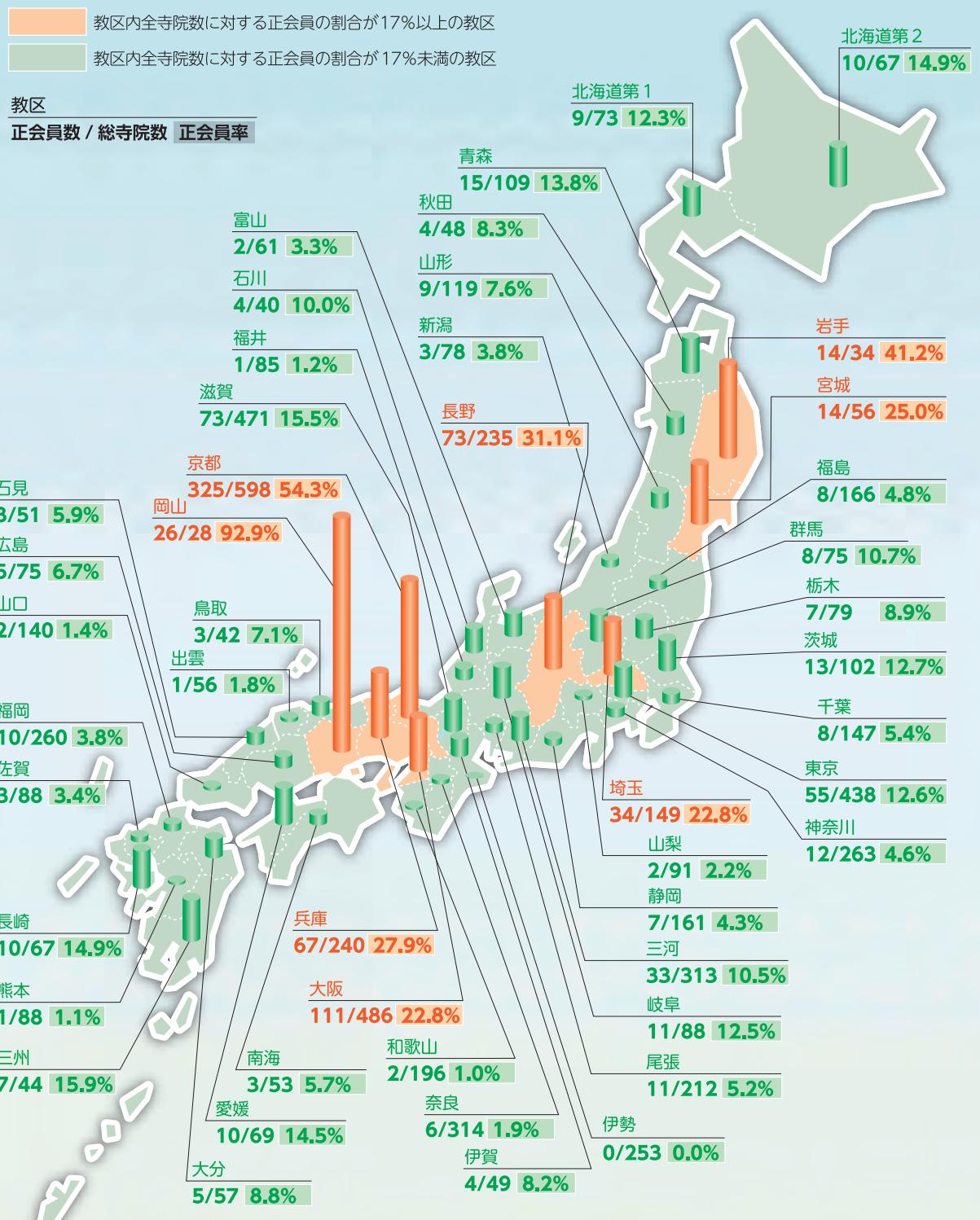
本年度運用資金部の歳出総額は ¥ 9,422,025 である

したがって、次の会計余剰金が生じたので、翌年度に繰り越す措置を取る

本年度の運用資金部余剰金 ¥21,353,323

平成30年度 振興協会教区別会員数

会員数1,200(全寺院数の約17%)を
目標としております。ご協力お願ひいたします。



海外・国内 開教使募集!!

世界が舞台です！

ハワイ、北米、南米の海外3開教区、
オーストラリア（ブリスベン）、フランス
(パリ)の両開教地が浄土宗の海外開教

の拠点です。

開教最前線で活動する事により、僧侶
としてはもちろん、自分自身の能力
向上ともなるはずです。

語学力ももちろん必要ですが、大事な
のはあなたの「やる気」です。興味の
ある方は下記までぜひお気軽にお問い合わせください。

寺院を建立してみませんか？

あなた自身、国内開教使として開山上人
になつてみませんか？寺院の建立は、
社会情勢の変化や人口流動などが進む
平成のこの時代であるからこそ、必要
なのです。全国に新寺が続々と建立され
ています。機は熟しました。今こそ
あなたのその力が必要なのです。

お問い合わせ先

浄土宗社会部 開教担当

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4

Tel.03-3436-3351(代)

Eメール kaikyo-info@jodo.or.jp



編 集 後 記

浄土宗開教振興協会会報『開教』をご拝読頂き誠に
ありがとうございます。

当協会会員の皆様、関係ご寺院の皆様におかれまして
は、平素より格別なるご理解ご支援を賜り厚く御礼
申し上げます。

皆さまご高承のことと存じますが、当協会では、海外・
国内における本宗開教活動の現状のご報告と、開教
活動へのさらなるご支援を得ることを目的に、毎年、
会報誌としてこの『開教』を発刊いたしており、この度
第37号となる本号におきましても、各海外開教区・海外
開教地・国内開教地での主要な活動状況の報告等を掲載
させていただきました。

中でも、昨年7月、永年南米開教区にて開教活動に
ご尽力を賜りました、前南米開教区開教総監、佐々木
陽明師がご遷化なされましたことは誠に残念なことで
ありました。佐々木師は62年もの長きにわたり南米の
地で開教活動に精励されました。佐々木師の生前の
多大なるご功績を偲びつつ、謹んで哀悼の意を表します。
一方で、ハワイ開教区では新たに石川光宣師がハワイ
開教区開教総監に就任され、ハワイ浄土宗別院には高野
宏明師が開教使として赴任されました。ハワイ開教区
の皆様におかれましては新体制のもと、今後より一層、
ハワイ開教区の発展にご尽力を賜りますようお願い
申しあげます。

当協会では、本誌掲載のように海外・国内における
様々な開教活動に対しその活動の一助となるべく、種々
の支援を継続して行っております。

会員各位におかれましては、今後とも引き続いての
ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、
末筆となりましたが、本号発刊にあたり、ご寄稿を賜り
ました諸師、編集にご協力いただきました関係各位に
深く感謝申し上げます。

今後とも紙面充実を目指して参りますので、有縁の
方々のご教導をよろしくお願い申し上げます。

合掌

開 教

第37号 令和2年3月31日発行

編集 / 発行 浄土宗開教振興協会

東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会部内

Tel.03-3436-3351 Fax.03-3434-0744

制 作 表紙・デザイン：株式会社 北陸スタッフ

印刷：株式会社 共立社印刷所



浄土宗開教振興協会ご入会のお願い

浄土宗開教振興協会は、昭和51年の設立以来、開教活動を支援してまいりました。

海外開教については、既存の開教区に加えて、平成15年に海外開教地として指定されたオーストラリア、フランスの2地区に対しても支援しております。

また、国内開教についても、多くの国内開教使の活動に対して、平成15年より本格的に支援を行っております。

新たにお念仏をひろめるための礎が徐々に、確実に進んでおりますが、国内外ともに、これらの事業を円滑に遂行させるためには、開教振興協会の正会員増加による活動資金の強化安定は絶対条件であります。当協会の支援活動を尚一層充実させるため、一人でも多くの教師諸大徳に「正会員」としてのご入会をお願い申し上げます。

※協会の会費・寄付は功績点が付与されます。

※ご入会の有無がご不明な方は、担当までお問い合わせください。

本協会は 次の事業を行なっております

- ① 開教思想の普及徹底
- ② 開教事業の調査研究
- ③ 国内開教指定地域への助成
- ④ 海外開教区・開教地への助成
- ⑤ 開教使の養成

会費の納入および 新会員の入会について

所属教区教務所を経てご納入またはご入会いただくか、下記の口座に直接ご納入くださるようお願い申し上げます。

寄付金および会費振込口座
**郵便振替 00160-5-175767
浄土宗開教振興協会**

会員の種類

- ①名誉会員 本協会の基本資金として100万円以上の寄付をされた方・本協会に特に功労があり理事会で推薦された方
- ②賛助会員 本協会の基本資金として20万円以上の寄付をされた方
- ③正会員 本協会の運用資金として年額1万円の会費を納入された方

功績点の付与

寄付金および会費については、次のように僧階の功績点が付与されます。

- ①一般勧募寄付金
・20万円に対して1点
- ②個人寄付金
・5万円に対して1点
(正会員費1万円は0.2点付与されます。)

【問合先】

浄土宗開教振興協会

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4(浄土宗社会部内)
TEL.03-3436-3351 FAX.03-3434-0744

【Web】

浄土宗開教ネット URL : <http://kaikyonet.jodo.or.jp/>

